1. 題材名 「あたたかい言葉かけ」(1/2時)

## 2. 本時目標

あたたかい言葉をかけられる体験を通して、あたたかい言葉かけのよさを味わうことができる。

## 3. 本時指導の考え方

本研究室では、人権感覚を身に付ける子どもを育成するために、自他を尊重したコミュニケーションを高める授業づくりはどうあればよいかを重点課題として研究を進めている。課題解決のためにはまず、子ども一人一人が自他を尊重したコミュニケーションを身につけていかなければならないと考えた。自他を尊重したコミュニケーションとは、他者の話を受け止めたり言っていることを正確につかみとったりする技能、自分が伝えたい知識や感情、考えなどを、他者を尊重しつつ、素直に伝える技能である。

本学級の子ども達はこれまでに、他者の話を上手に聴く技能、上手に質問することができる技能、あたたかい言葉かけができる技能について学習してきている。他者の話を上手に聴く技能では、①やっていることをやめる。②話す人の目を見る。③うなずく。④最後まで聴く。という4つの聴き方をすれば、自分に必要な情報を得ることができ、他者や自分を気持ちよくさせることができることを理解することができた。上手に質問することができる技能では、①あいさつをする。②質問をしてもよいか確認する。③質問する。④お礼を言う。という4つの質問の順番を守ることが大切であることを理解することができた。あたたかい言葉かけができる技能では、①相手をよく観察する。②相手が安心する言葉を見つける。③声かけをする。という相手を知り、よりよい言葉かけをすることが大切であることを理解することができた。また、「その人の様子」+「感情語」で言うとよいことも理解することができた。

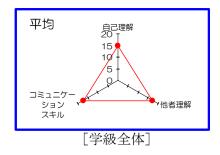
そこで本時では、あたたかい言葉をかけられる体験を通して、あたたかい言葉かけのよさを味わわせることをねらい、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

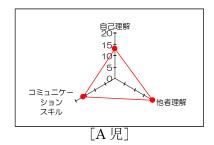
まず、言われる言葉によって気持ちが変わることに気付かせるために、聞き手の表情が違う2つの 絵を提示し、話し手の言葉を考えさせる。

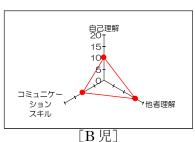
次に、言われたときの気持ちとあたたかい言葉かけをするときに気をつけたことを考えさせるために、友達のいいところをあたたかい言葉に書き直させ、代表の人に発表させて考えさせる。その際、「心を伝える話し方」①相手に近づく。②相手をきちんと見る。③聞こえる声で言う。④笑顔で言う。を伝える。そして、2人組で聞き手と話し手の役割を交代させながら体験させる。

最後に、あたたかい言葉かけのよさを気付かせるために、活動を振り返り、これからの自分の行動 について考えさせる。

また、本学級では、2人の児童を中心にすえて研究を進めている。2人に共通していることは、自己理解が低いことである。1人は、難しい問題に直面したときや自分が失敗したときに、ものに当たったり腹を立てたりすることが多々ある。また、学習中では、興味や関心をもったときは進んで発表するが、そうではないときは手遊びしたり本を読み始めたりする。もう1人は、感情豊かだが、相手が話しているときに手遊びしながら聞いていることが多い。また、しばしば発表することがあるが、必ず発表内容がよいかどうかを教師のところまで来て確認する。自信がないときは、発表する声が小さくなる。このような2人に、自他を尊重したコミュニケーションを身につけさせ、学習面や生活面でうまく活用していくことができれば、自己理解が高まっていくと考えている。







## 4. 本時の展開

ナム学羽江新し内穴	<b>化道しの</b> 図会占
主な学習活動と内容	指導上の留意点
1. 学習プリントの内容から、めあてをつかむ。	
(1)問題を読み、あてはまる言葉を考える。	
(2)うさ子ちゃんの表情のわけを考え、めあてをつかむ。	※どんなものがあたたかい言葉か
あたたかい言葉は、どのようにかければいいのか考えよう。	考えさせる。
2. あたたかい言葉のかけ方を知り、かけるときに気をつけるこ	
とを考える。	
(1)あたたかい言葉のかけ方を知る。	※実態に応じて例を説明し、あた
(2)友達のいいところをあたたかい言葉に書き直す。	たかい言葉の内容を詳しく説明
	する。
(3)代表2人のあたたかい言葉かけを見る。	※交代して両方の役をやらせる。
(4)言われたときの気持ちとあたたかい言葉かけをするときに	
気をつけたことを考える。	
3. 班で、「いいところ探しカード」を順番に回し、あたたかい	※「心を伝える話し方」を伝える。
言葉に直し、伝える。	①相手に近づく。
	②相手をきちんと見る。
	③聞こえる声で言う。
	④笑顔で言う。
4. 活動を終えての感想を出し合い、まとめる。	
(1)今どんな気持ちか考える。	
(2)難しいと思ったことを考える。	
(3)困っているときやがんばっている人に対してのあたたかい	※これからの行動について書かせ
	る。
言葉のかけ方についても知り、「今日の学習で」を書く。	る。